令和８年７月28日(火)
地方創生懇談会
資料5

栗東市 DX 推進計画 【概要版】

R8.7

背景・趣旨

少子高齢化による人口減少社会の進行、社会情勢の変化に伴い多様化する市民ニーズへの対応、行政手続のデジタル化が求められている中で、デジタル技術の活用によって、業務の効率化を図り市民の利便性を向上するため、「栗東市 DX 推進計画」を策定しDX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進していきます。

計画期間

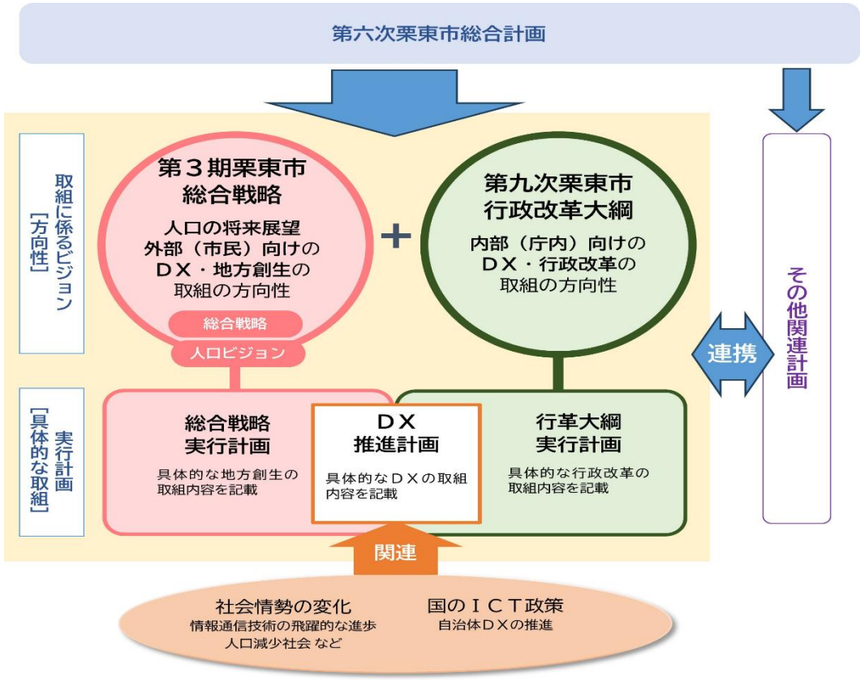
令和7年度から令和 11 年度までの 5 年間

※本計画は上位計画及び社会経済の動き、デジタル技術の進展を踏まえ、適宜見直しを行います。

計画の位置づけ

本計画は、「栗東市総合計画」を上位計画とし、「第3期総合戦略」および「栗東市行革大綱」との整合を図ると共に、これらの推進を DX で補完するものとして位置づけ策定しています。

また、総合戦略、行革大綱の取組と DX は密接に関連しているため、3 つの計画を一体的に作成し、共通の「取組シート」で連動させ、進行管理や毎年の見直しを実施していきます。



具体的な取り組みの例

基本方針1 「行政事務の効率化」

行革大綱実行計画と連携

デジタル技術や AI 等の活用による行政事務の更なる効率化

●スマート窓口の推進
- ・手続きのオンライン化の拡充
- ・書かない窓口の推進 など

●デジタルを活用した市税などの収納チャネルの多様化
- ・キャッシュレス決済システムの導入による収納チャネルの多様化 など

●事務効率化ツールの利用促進
- ・生成 AI の活用
- ・AI-OCR、RPA の活用 など

●スクラップ＆ビルドによる事務事業見直し
- ・DX を用いた事務作業・手順の見直し

●多様で柔軟な職場環境づくり
- ・テレワークの活用
- ・公用スマートフォンの導入検討 など

●専門的な知識を持つ職員の育成
- ・専門的な知識を持つ職員の育成

基本方針2 「市民の利便性向上」

総合戦略実行計画と連携

自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用した、住民の利便性の向上

●子育てしやすいまちをつくる
- ・手続きのオンライン化の拡充
- ・書かない窓口の推進
- ・子育て情報の収集・発信の充実
- ・学ぶ力向上に向けての学校 DX の推進 など

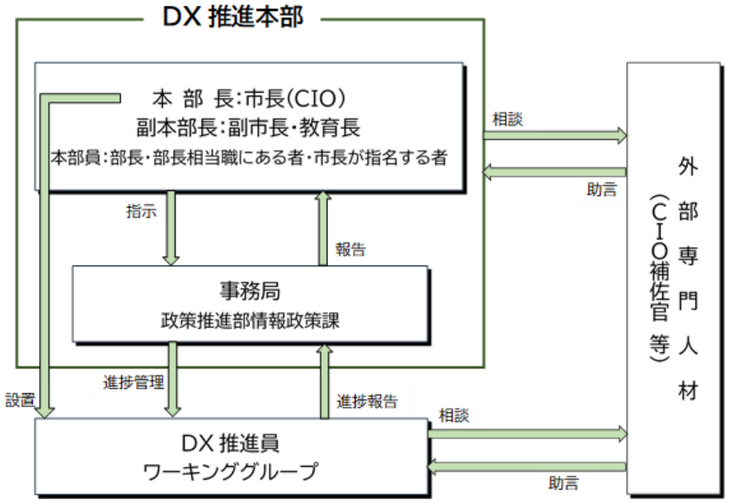
●住みよいまちをつくる
- ・公開型 GIS の導入
- ・Wi-Fi 環境の整備 など

●安心して働けるまちをつくる
- ・市内企業のデジタル化・省力化の促進
- ・デジタル人材育成の支援 など

●選ばれるまちをつくる
- ・SNS を活用した市の PR、有益・魅力ある情報の発信
- ・栗東市議会デジタル配信事業
- ・国・県等の施策の積極的な活用 など

R8 年度新規事業

推進体制



- ・市長を本部長、副市長・教育長を副本部長、各部局長等を本部員とする DX 推進本部を設置し、計画を推進します。
- ・業務ごとに DX 推進員の中からワーキンググループを設置し、取組を検討します。
- ・外部人材を必要に応じて登用し、専門的な知見やノウハウを取り入れます。

